

『国道 185 号 仁方のみちづくり』  
 を考えるワークショップ(全 3 回)が開催されました！

「国道 185 号 仁方のみちづくり」を考えるワークショップ が、以下の通り開催されました。

日 時 : 第 1 回:平成 18 年 1 月 19 日(木) 19:00 ~ 20:30  
 第 2 回:平成 18 年 1 月 26 日(木) 19:00 ~ 21:00  
 第 3 回:平成 18 年 2 月 2 日(木) 19:00 ~ 21:00

場 所 : 呉市 仁方公民館(仁方支所 3 階) ホール

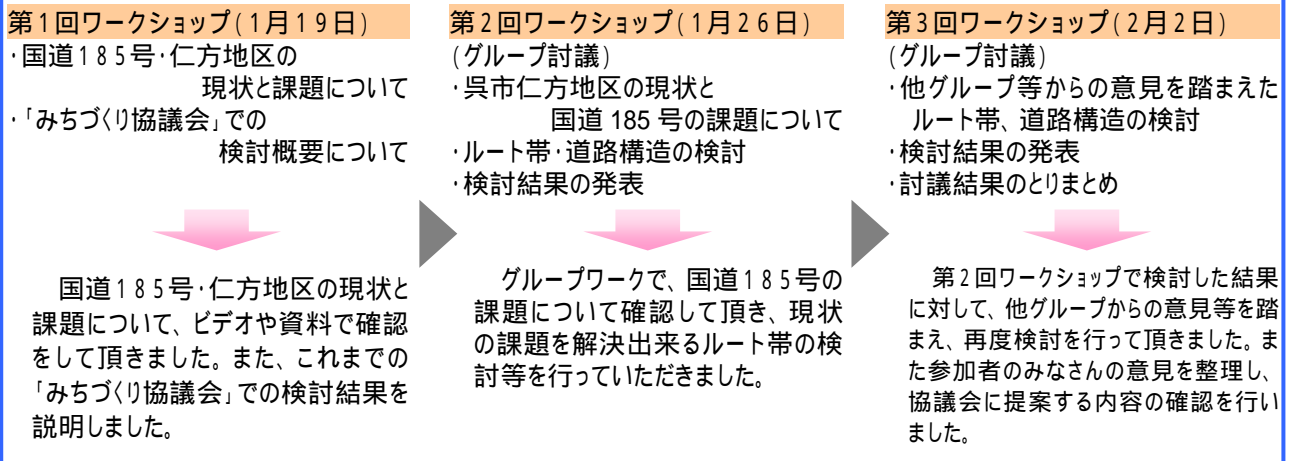
出席者 : 地域住民(一般公募等による):48 名

進行役(広島国際大学 坂本先生,砂本先生,橋本先生, 谷村先生)  
 (呉工業高等専門学校 篠部先生,市坪先生,山岡先生, 福田先生)  
 協議会委員(広島大学 藤原先生他),その他事務局等:30 名程度

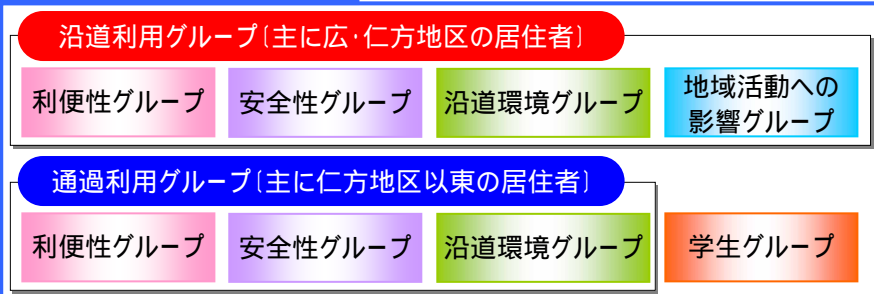
### ワークショップの実施概要

参加者の皆様に 8 グループに分かれて頂き、国道 185 号・仁方地区が抱える課題を解消するための道路整備の検討を行って頂きました。

#### ワークショップの流れ



#### グループ分け模式図



## 『国道185号仁方のみちづくり』を考えるワークショップでの提案内容

今回の全3回のワークショップを通じて、参加者から以下のような意見が提案されました。

### ワークショップ参加者からの提案内容

#### 1) ルート帯について

大半が通過交通処理を目的とした、仁方地区の北側を通過する北側バイパスルート帯を提案しました。現道拡幅案は利便性の悪さ等から提案はありませんでした。

新たに、南側の仁方榎橋通り地区を通過し、現況の市道を活用したバイパス案の提案がありました。

#### 2) 北側バイパスルートの場合の市道西神三坂地線との接続について

仁方地区住民の利便性を考慮し、接続するのが望ましいという提案が多くありました。

接続する場合は、安全性を考慮しランプ形式とする案や、街並みを保護する観点から平面交差とする案が提案されました。

仁方地区住民の「生活を守る」「既存の自然や歴史を保護する」といった観点から接続はしない方がよいという意見もありました。

#### 3) 北側バイパスルートの場合の歩道設置について

(歩道が必要という意見)

宮上、大蔵地区等の住居地への歩道、集落相互の交流のための歩道等、部分的な歩道設置を望む意見がありました。又、遊歩道として活用したいという意見もありました。

(歩道が不要という意見)

バイパスが市街地より高いところを通過し利便性が悪いことから、利用者が少ないと思われるため歩道が不要という意見がありました。

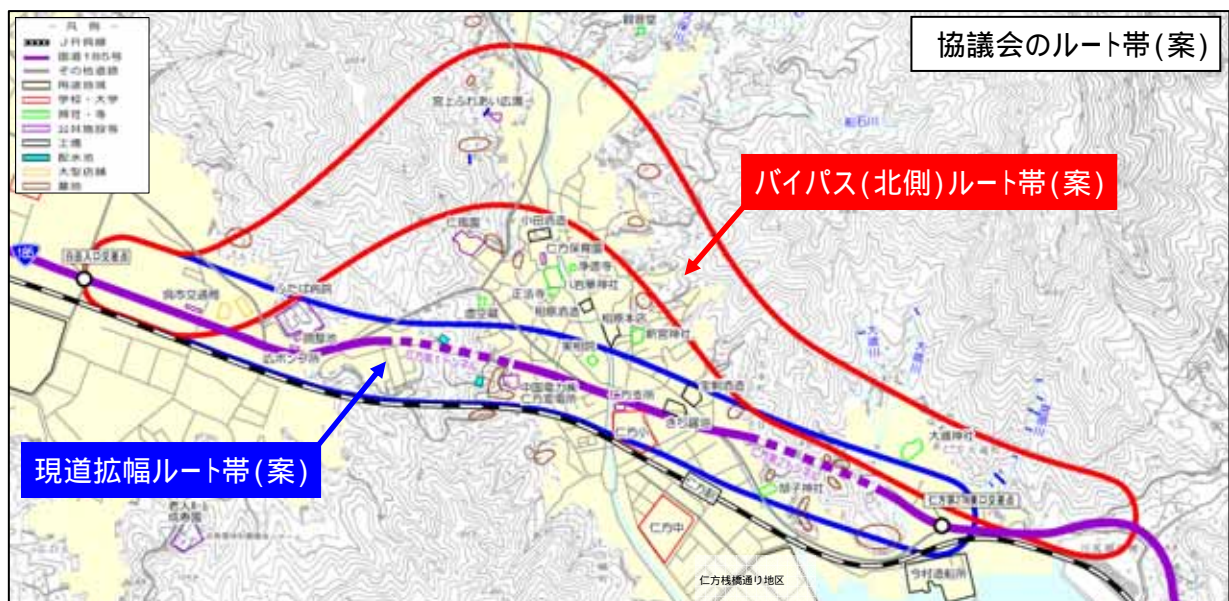
#### 4) その他の意見について

酒蔵等があるので地下水への影響を考慮すべきである。

バイパスを通す場合、市街地への影響の少ないルートにして欲しい。

現国道185号の歩道整備を行って欲しい。

...など多くの意見を頂きました。



一般国道185号呉市仁方地区 みちづくり協議会についてのお問い合わせは  
〔事務局〕

- ・ 呉市 都市交通推進室 : [TEL] 0823-25-3239 ; [担当] 濱井 橋村
  - ・ 広島国道事務所 調査設計第一課: [TEL] 082-281-4131 ; [担当] 武内 木内
- 本協議会の議事内容などがわかるホームページ

[http://www.hirokoku-mlit.go.jp/michi\\_kyougi/index.html/](http://www.hirokoku-mlit.go.jp/michi_kyougi/index.html/)